

裏磐梯湖沼群の水生植物相調査地選定の途中報告

黒沢研究室 4年 佐藤雄太郎

2014年6月30日(月)に、裏磐梯湖沼群の水生植物相調査のための準備として、調査地の下見を黒沢研究室博士後期課程1年の首藤さん、学類生4年の佐藤で行いました。今回は川上温泉周辺などの裏磐梯の東側に点在する9湖沼と曾原地区の1湖沼の合計10ヶ所で下見を行いました(図1.2)。初めに下見を行った川上温泉周辺の①の湖沼、川上青沼(図3)では、目視でスイレン、ヒメガマ、キショウブ、オランダガラシ、ヨシが確認できました。②の湯沼では、イヌタヌキモやエビモが確認できました。また、この沼は西側から温水が流入しており、水温が高く感じられました。

③から⑨の湖沼では、福島県レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に指定されているヒメタヌキモや、フサモやオヒルムシロなどが見られました。一見して水生植物の多様性が高そうな湖沼が見られた一方で、ブラックバスが見られる湖沼も多くありました。

曾原地区の湖沼(図3 ⑩)では、コカナダモが見られました。案内していただいた友坂豊さんの話では、かつてはヒルムシロ属植物が見られたようです。

今回の下見では10湖沼を周り、約15種の水生植物を見つけることができました。また、温水が流入する湖沼を見つけることができました。

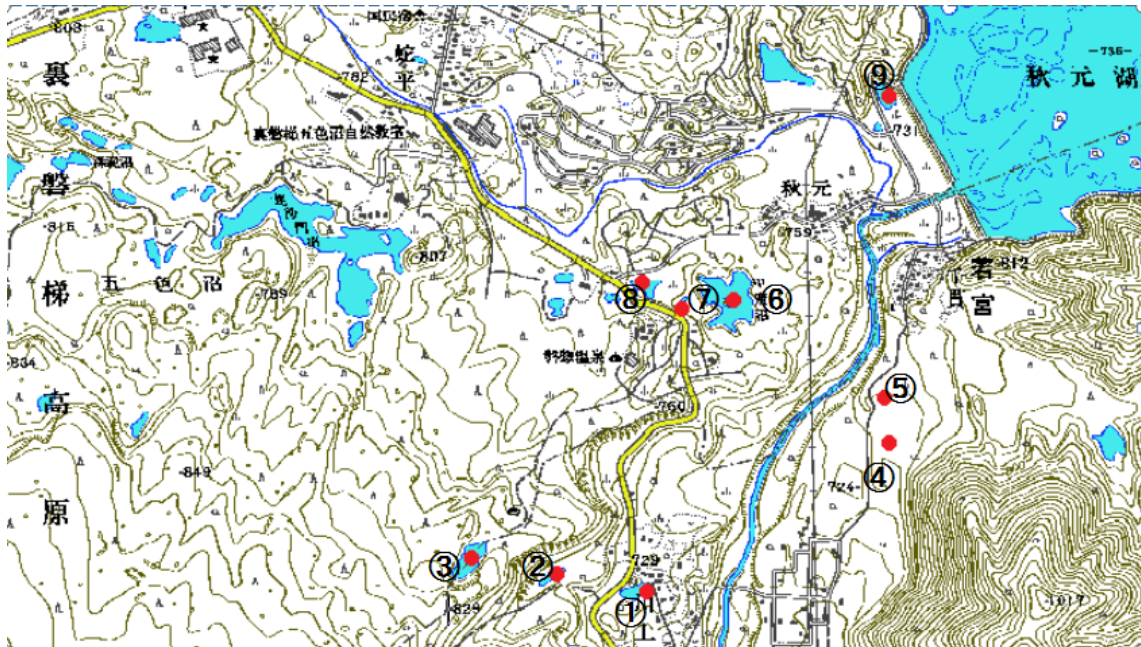


図1 今回下見を行った湖沼の位置。国土地理院 1/25000 地形図より作成

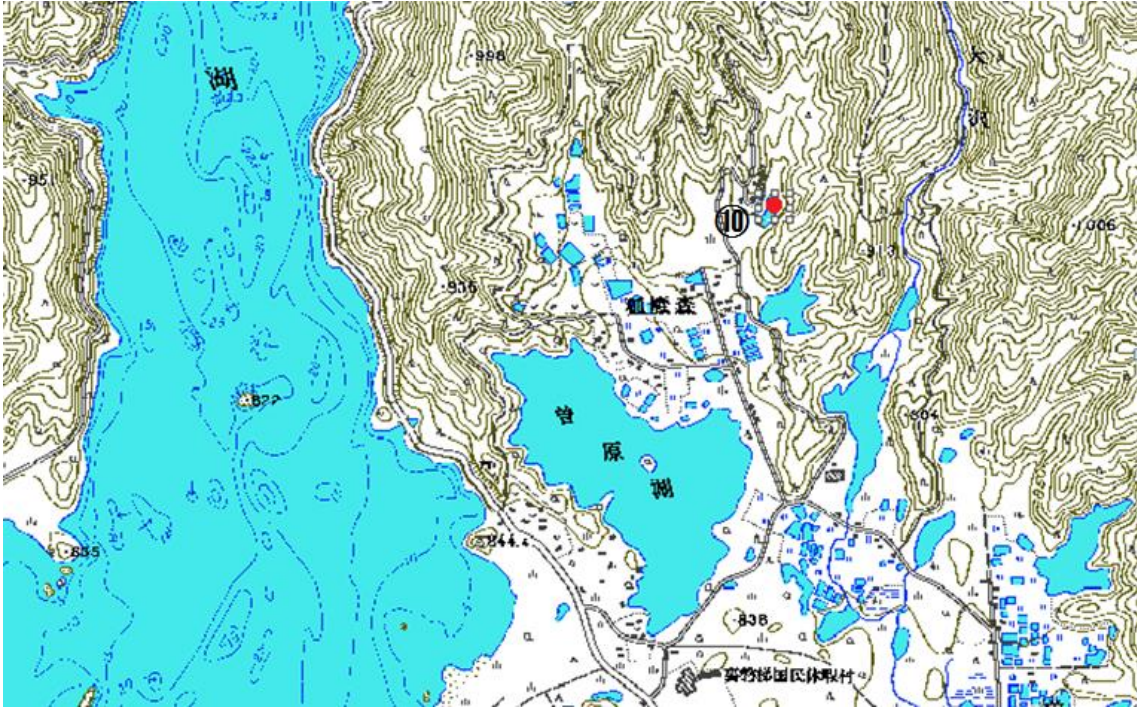


図2 今回下見を行った楚原地区の湖沼の位置. 国土地理院 1/25000 地形図より作成



図3 ①の湖沼, 川上青沼